

調査数量一覧表(5街区)

街区 (箇所)	調査目的 ※1	汚染物質										水分量				土壌ガス※6	
		土壌溶出量※2					土壌採取(掘削工)					土壌水分量				土質試験	
		ベンゼン (検体)	シアン (検体)	砒素 (検体)	地盤高 (A.P. m)	孔底高 (A.P. m)	掘進長 (m)	試験採取 (本)	湿潤密度 (試験)	土粒子密度 (試験)	含水比※3 (試験)	含水比※4 (試験)	保水性 (試験)	粒度※5 (試験)	有機物含有量 (試験)	ボーリング工 (m)	ガス分析 (検体)
5	鉛直分布	○	12	12	+6.75	+0.10	6.65	4	0	0	0	0	0	0	0	4	7
	油分	○	13	13	+6.63	-0.12	6.75	5	3	3	2	2	2	3	2	2	2
	油分	○	11	11	+6.70	+1.10	5.60	4	0	0	0	0	0	0	4	2	2
計	3	0	36	36	-	-	19.00	13	3	3	2	2	2	3	10	11	

街区 (箇所)	調査目的 ※1	油汚染調査										地下水※9			
		油膜・油臭					土壌※8					地下水			
		地盤高 (A.P. m)	掘進長 (m)	検体数	TPH※10 (検体)	ベンゼン (a)トレン キレン (検体)	芳香族 フナゴン画分 (検体)	ベンゼン (a)トレン キレン (検体)	TPH※10 (検体)	ベンゼン (a)トレン (非ろ過) (検体)	ベンゼン (a)トレン (ろ過) (検体)	芳香族 フナゴン画分 (検体)	ベンゼン トレン キレン (検体)		
5	鉛直分布	○	+6.49	6.00	6	2	2	0	2	1	1	0	0	1	
	油分	○	+6.43	6.00	6	2	2	2	2	1	1	1	0	1	
	油分	○	+6.52	7.00	7	2	2	0	2	1	1	0	0	1	
計	3	0	-	19.00	19	6	6	2	6	3	3	1	0	3	

※1:調査目的

○:毛管現象による土壌汚染物質ならびに揮発によるベンゼンによる鉛直上向きの移動状況を把握する。
 □:土壌ならびに地下水の油汚染状況を把握する。

※2:「専門家会議の運営に係る調査委託(その3)」調査において採取した土壌試料を流用した。

※3:乱れの少ない採取試料を使用し、試料の物性(乾燥密度、間隙比)を試算する目的で実施した。

※4:「専門家会議の運営に係る調査委託(その3)」調査において採取した土壌試料を使用し、無水掘りして採取した試料(原地盤)の含水比ならびに飽和度を求めることを目的に実施した。

※5:ふるい+沈降

※6:孔はボーリングによる掘削を行い、ガス採取用先端コーンを使用して土壌ガスを採取した。

※7:「専門家会議の運営に係る調査委託(その3)」調査において採取した土壌試料を流用した。

※8:旧地盤面付近ならびに地下水面付近で採取した。

※9:地下水面付近で採取した。

※10:「環境省の油汚染対策ガイドライン」に準拠し、二硫化炭化水素で抽出した。